

2023年度大学院秋季入学式学長訓示（2023年10月2日）

本日、広島市立大学大学院に入学された皆さん、ご入学まことにおめでとうございます。広島市立大学を代表して、皆さんを歓迎いたします。ご家族、ご友人の皆様、入学後に学生を指導予定の先生方にも、心よりお祝いを申し上げます。

広島市立大学は「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念に掲げて1994年に開学しました。大学院には国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科、平和学研究科の4研究科があり、専任教員204名が在籍し、少人数教育を実現しています。本日、大学院に入学された皆さんには、本学の恵まれた教育研究環境を十分に活用いただき、勉学と修士論文研究、博士論文研究に励まれることを期待します。

さて、皆さんは本日、大学院に入学されました。大学には学部もあります。それでは、学部と大学院の違いは何でしょう。私は学生が学問とどう向き合うかが違うと考えています。学部においては、学問は学びの対象です。学部教育においては体系化された学問をカリキュラムに沿って学ぶことが基本です。それに対して大学院では、学問は学びと共に研究の対象です。大学院では学問を発展させる、すなわち研究に主眼を置いた教育が行われます。

大学院博士前期課程では、専門分野の高度な知識、技能の習得に加えて、新たな知の探究のために研究課題を設定し、修士論文研究を実施します。また、研究を進めていく上で必要となる様々なスキル、たとえば文献の読み方とか、論文の書き方、学問的な討論の技法などを身に付けることも大切です。

さらに、大学院博士後期課程においては、研究者として独り立ちするために、新たな学問領域を開拓し、あるいは発展させる研究を行い、博士号授与に値する学位論文にまとめることが要求されます。

もちろん、大学院博士前期課程あるいは後期課程を修了した学生がすべて研究者になることを求められているわけではありません。特に博士前期課程

の修了生の多くは研究者以外の道を選んでいきます。それでも、大学院において、学問とは何か、研究とはどういうことか、そうしたことを実践的に学び、深く理解した学生は、社会に出てからも、より幅広い視点から学問を活用できるようになり、社会へのより大きな貢献ができると思います。

ここからは、大学院に進学し、これから研究者の仲間入りをする皆さんに、研究者としての心構えをお話したいと思います。皆さんはルイ・パスツールという19世紀後半に活躍したフランスの化学者・細菌学者をご存じでしょうか。牛乳、ワインなどに対し、60度から70度程度の比較的低温で長時間加熱することで殺菌する低温殺菌法の発明者として有名ですが、他にも多数の優れた業績があり、ロベルト・コッホと共に近代細菌学の開祖とされています。

そのパスツールが研究に関して述べた言葉があります。私も大変、好きな言葉ですので紹介します。それは、

「幸運は用意された心のみに宿る。」

です。1854年にリール第1大学の初代学長に就任したパスツールが大学の開設記念式典のスピーチで述べた言葉です。

この言葉は直接的には自然科学における研究者の心構えについて述べたものです。この言葉の「用意された」は「準備の整った」と言い換えることもできます。すなわち、科学においては様々な実験が行われ、多くの現象が観察されますが、観察された内容から新しい発見をすることができるのは、日頃から研究に専念し、関連する多くのことを深く考えていた研究者だけであるという意味です。つまり、科学における新発見は宝くじが当たるようなものでは決してないということです。

この言葉における「幸運」は「新しいアイデア」と言い換えることもできるでしょう。そう考えると、この言葉は自然科学だけでなく、人文科学や社会科学にも当てはまります。皆さんは、これから大学院において研究に取り組むこととなります。どのような分野の研究にせよ、日頃から研究に熱心に取り組む、

新発見への準備が整った研究者を目指して下さい。そうすれば、皆さんにも「新発見」、「新しいアイデア」という幸運が訪れることでしょう。

もう1つ、研究に関するアドバイスをします。米国のベンチャー企業であるオープン AI が昨年 11 月に公開した ChatGPT は、ユーザーが入力した質問に対してまるで人間のように自然な形で回答する対話形式の人工知能ソフトであり、その能力の高さと利用範囲の広さから瞬く間に世界中に普及しました。ChatGPT に代表される生成 AI は発展途上の技術であり、今後、さらに進歩し、回答の精度・機能が向上し、利用範囲も拡大することは間違いありません。

生成 AI を活用することで様々な分野において新しい可能性が広がります。研究においても、生成 AI を積極的に活用することで革新的なアイデアを生み出すチャンスが広がります。現在、分野を問わず、生成 AI を研究に利用しようという動きは加速しています。一方、生成 AI は莫大なデータの情報処理や手順に沿って行う仕事を効率的に行えますが、人間の創造性、感情、倫理は生成 AI には代替不可能です。虚偽の情報を生成することもあります。生成 AI は極めて高機能で有用なツールですが、あくまでツールです。私たちは、人間としての価値観や倫理を守りながら生成 AI を使いこなすことで、より快適で持続可能な未来を築くことができます。そのためには、人間だけが持つ能力、例えば創造性、審美眼、倫理観、他人への共感力、コミュニケーション能力等を日頃から磨き続けることがこれまで以上に重要となります。この点を忘れないようにしながら、皆さんのこれからの研究に生成 AI を活かして下さい。

以上、皆さんのこれからの大学院での勉学が実り多いものになることを祈念して、私の訓示とします。本日はご入学、まことにおめでとうございます。

2023 年（令和 5 年）10 月 2 日
広島市立大学長
若林 真一